

MAO-B選択的PETトレーサーの多系統萎縮症患者での検討

研究分担者: 武田 篤(国立病院機構仙台西多賀病院)

【背景】

- ①モノアミン酸化酵素B (MAO-B)は神経炎症のマーカーの1つである
- ②THK-5351はMAO-Bとタウ両方に結合したが、SMBT-1はMAO-B特異的に結合するPETトレーサーとして開発された

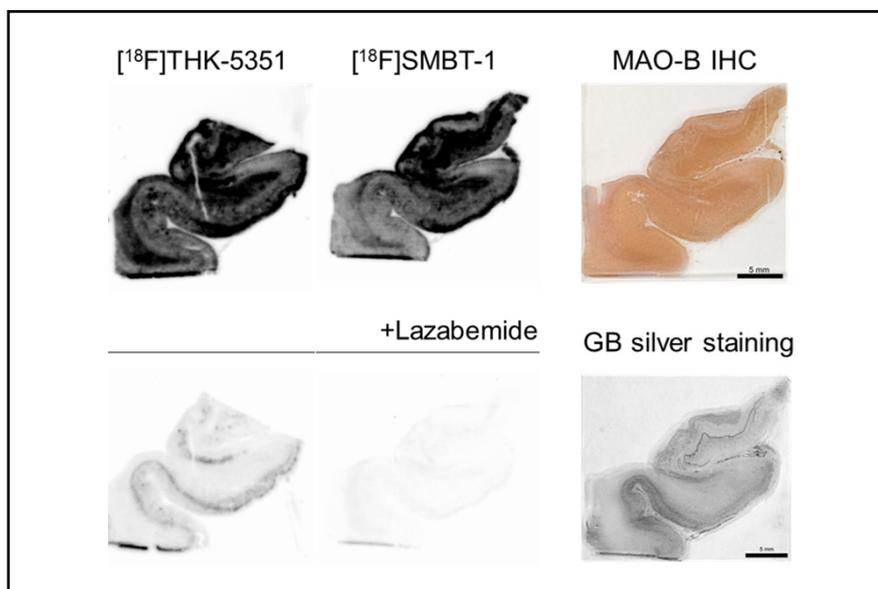


図. アルツハイマー病脳切片における、競合的オートラジオグラフィ（ARG）と免疫染色像

【目的】

SMBT-1を使用して、多系統萎縮症患者 (MSA) の凍結脳切片を用いてトレーサーの有用性を評価する

【成果】

1. MAO-Bを検出するSMBT-1を用いてMSA患者検体でARGを行い、SMBT-1の有用性を確認した。
2. 2019年12月現在、MSA患者でのSMBT-1 PET検査施行に向けて準備を進めている段階である